令和８年度

米原高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・授業を大切にし、様々な教育活動を通して確かな学力を育む教育の推進
・豊かな心と、自主・自律の精神の涵養
・生徒の夢の実現を目指した、充実した進路指導の推進
・地域社会・関係機関・家庭との連携の深化と信頼される学校づくりの推進
・普通科（普通類型・英語コース）、理数科の特色を生かした教育活動の推進と調和のとれた発展

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	特色ある学校づくりを行い、積極的に広報活動を行っている。	B		
	教員間の連携が密に行われ、管理職への報告・連絡・相談が適切に行われている。	A		
2　学習指導	授業時間の確保に努め、シラバスに基づき計画的に学習指導を行っている。	A		
	指導力向上の研究に努め、研究授業や授業アンケートを通して授業改善に取り組んでいる。	B		
3　生徒指導	基本的生活習慣の確立を目指すとともに、スマートフォンの使用モラルや交通マナー、防災・防犯意識の高揚に努めている。	A		
	「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・迅速な対応を行っている。	A		
4　進路指導	進路指導の研修を計画的に実施し、進学等をめぐる現状の理解を深めることに努めている。	A		
	進路に関する情報・資料を整理し、これを生徒に活用させることで、個々に応じた進路指導を行っている。	A		
5　特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたＬＨＲや学校行事を適切に行っている。	A		
	部活動を通して、豊かな心情と集団の中での社会性を養っている。	B		
6　学校図書館	朝読書の時間を設定し、読書の大切さに気付かせ、読書習慣の定着に努めている。	A		
	図書に関する情報をわかりやすく丁寧に提供し、生徒の図書館利用を促進するよう努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理、事故・怪我への対応を適切に行っている。	A		
	教育支援体制に基づき、支援の必要な生徒への手立てが適切に行われている。	A		
8　人権教育	一人ひとりがお互いに尊重し、信頼される学級や学校づくりに努めている。	A		
	すべての教育活動を通して、人権意識を高める指導を行っている。	A		
9　環境教育	資源保護の意識を高め、校内の美化に努めている。	B		
	ＳＤＧｓの視点を取り入れながら環境学習に取り組み、社会貢献への意識を培っている。	B		
10　事務・管理	施設・設備・備品・薬品等の点検を行い、適切に管理している。	A		
	文書や電子データを適切に管理し、個人情報の保護を厳格に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	学校行事や研究成果を、ウェブページ等で保護者や地域に積極的に公開している。	A		
	生徒が安心して学べる環境を確保している。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：https://www.maibara-h.shiga-ec.ed.jp/